

Ruby on Railsを用いた教員データベース : 運用と現状

森, 雅生
九州大学大学評価情報室

<https://hdl.handle.net/2324/18819>

出版情報 : 九州Ruby会議, 2008-12-14
バージョン :
権利関係 :

内容

1. 自己紹介
2. 目的とデータ項目
3. 開発と運用の経緯
4. 入力状況
5. 活用
6. まとめと課題

発表のゴール

Ruby on Railsで構成された教員データベースの目的、開発の経緯を紹介し、これまでに得られた知見を述べる。

1. 自己紹介

国立大学法人 九州大学 大学評価情報室

九州大学における大学評価(組織評価)やマネジメントに資する基礎情報の調査・収集・分析を通じて、大学における点検・評価活動への支援と学内外への大学情報を発信・提供する業務を行う。

教員個人を評価する仕事ではない。

私 (森 雅生:助教)

教員データベース(大学評価情報システム)の開発・運営・管理および大学情報と教員情報の収集と分析。

2. 目的とデータ項目

目的

教員の**自己点検・評価活動**のデータ収集支援を目的とし、教育研究活動に関するデータ項目を整理、全学で共通のデータ項目でデータベースを提供。

データ項目

教育・研究・社会貢献・管理運営・競争的資金の5分野、全62項目。

- 例:原著論文、科学研究費採択状況、など

サービス対象

- 20部局・研究所・病院
- 全教員数 約2300人

3. 開発と運用の経緯

背景

H11年 国立大学の自己点検・評価の義務化

H16年 国立大学の法人化

※認証評価と法人評価の義務化

※大学評価(組織評価)の目的は大学の諸活動を点検して改善に資すること。

※根拠資料の収集が大変困難。

3. 開発と運用の経緯

開発

H15年 大学評価情報システムの初期型開発完了・運用

- 情報教員による入力用CGI開発。
- タブ区切りテキストデータ。
- 一部の公開項目についてWebDB「研究者情報」を開発。
- 後に、富士通に入力CGIの開発を委託。
- 画面遷移に時間がかかるなどの課題があった。

H18年 大学評価情報システムの全面的改修

- Ruby on Railsによるウェブアプリケーションに乗り換え。
- IFの改修に関して小回りの効くシステムへ。
- 開発は富士通、マルチプライ(岡峰氏)へ委託。

3. 開発と運用の経緯

開発方法

ゆるいエクストリームプログラミング

- 開発開始から納品まで期間は約半年であったが、納品以後も機能付加や改良を続ける。
- 開発者(岡峰氏)と顧客(私)で議論しながら進めた。
- 開発者に、当該データベースをめぐる制度や制約など、**大学の事情を十分理解していただいていた**ので、開発者からの提案が的を得たものが多かった。

Ruby on Railsを選んだ理由

- 前任者が決めてしまっていた。
- 初期型では、XMLデータベースを最終的な目標にしていたが、運用している間に、関係データベースで十分であることが判明。
- 柔軟なウェブアプリケーション開発が可能(アジャイル性)。

大学評価情報システム

[ヘルプ](#)
[お問い合わせ](#)

教員業績評価支援システム

ログインID

パスワード

[ログイン](#)[パスワードを忘れた方
\(パスワード再発行\)](#)[ログインIDを忘れた方
\(ログインID通知\)](#)[記入要領\(データ形式含む\)](#)[操作マニュアル](#)

入力するデータの内容については、「データの掲載基準等について(平成10年3月20日自己点検・評価委員会決定)」および、大学評価情報システムのデータ管理体制に従い、各自の責任において適正に入力してください。

お知らせ

① 「平成20年度新規採択の科研費(研究代表者分)データ」移行時の重複整理について(2008年11月)

「V-1.科学研究費補助金文部科学省日本学術振興会の申請・採択」項目に事務局で保有する平成20年度分新規採択の科研費(研究代表者)データを移行致しました。移行したデータ中に一部20年度以前に採択されたデータを重複して移行した部分がありましたので、確認し整理致しましたことをご報告致します。訂正してお詫び申し上げます。

② アップロード時の編集ツールの変更

次の4つの項目で提供しております、アップロードのための『編集ツール』(エクセルファイル)は6月16日にバージョンアップいたします。

- II-3-1a 学会発表等
- II-3-2 原著論文
- II-3-3 著書
- II-3-4 総説・論評・解説・書評・報告書等

旧バージョンで生成されるアップロード用のデータは、1ヶ月後の7月16日から更新ができなくなります。旧バージョンの編集ツールで生成したデータで、まだアップロードしていないものがありましたら、7月16日までにアップロードしてください。また、新バージョンの編集ツールをお使いください。



大学評価情報システム

ヘルプ
お問い合わせ

全項目 | 病院臨床活動項目 | データ提出 | 入力委任 | パスワード変更 | ログアウト | 森 雅生(00161:K000173)

0.教員基礎情報 | I.教育 | II.研究 | III.社会貢献・国際連携 | IV.学内運営 | V.研究資金 |

全項目表示
 全項目簡易表示
 XMLダウンロード
 XMLダウンロード(旧タグ)

0.教員基礎情報

項	目	入力状況	該当なし	更新日	編集	ダウンロード
0-1	教員基礎情報	データあり		2008/02/20		
0-2	学府担当	該当なし	<input checked="" type="checkbox"/>	2008/06/25		
0-3	学部併任	該当なし	<input checked="" type="checkbox"/>			
0-4	附属施設・学内共同教育研究施設等勤務／併任	該当なし	<input checked="" type="checkbox"/>	2008/12/04		
0-5	ホームページ	データあり		2008/08/01		
0-6	現役職	該当なし	<input checked="" type="checkbox"/>			
0-7	活動概要	データあり		2008/04/30		

[ページの先頭へ](#)

I.教育

項	目	入力状況	該当なし	更新日	編集	ダウンロード
I-0	教育活動概要	データあり		2008/05/22		
I-1	担当授業科目	データあり		2008/03/14		
I-2-1	学部卒業研究指導学生	該当なし	<input checked="" type="checkbox"/>			
I-2-2	大学院修士課程指導学生	該当なし	<input checked="" type="checkbox"/>			
I-2-3	大学院博士課程指導学生	該当なし	<input checked="" type="checkbox"/>			
I-3	博士学位論文調査委員	該当なし	<input checked="" type="checkbox"/>			
I-4	指導研究生	該当なし	<input checked="" type="checkbox"/>			
I-5-1	指導学生のための学会発表等	該当なし	<input checked="" type="checkbox"/>	2008/03/14		
I-5-2	指導学生のための原著論文	該当なし	<input checked="" type="checkbox"/>			
I-5-3	指導学生のための著書	該当なし	<input checked="" type="checkbox"/>			
I-5-4	指導学生のための総説・論評・解説・書評・報告書等	該当なし	<input checked="" type="checkbox"/>			
I-5-5	指導学生のための作品・ソフトウェア・データベース等	該当なし	<input checked="" type="checkbox"/>			
I-5-6	指導学生の受賞	該当なし	<input checked="" type="checkbox"/>			
I-5-9	日本学術振興会特別研究員(DC, PD)の受入状況	該当なし	<input checked="" type="checkbox"/>			

大学評価情報システム

全項目 | 病院臨床活動項目 | データ提出 | 入力委任 | パスワード変更 | ログアウト | 森 雅生(00161:K000173)

0.教員基礎情報 | I.教育 | II.研究 | III.社会貢献・国際連携 | IV.学内運営 | V.研究資金 |

II-3-2. 原著論文の一覧

[新規作成](#) | [詳細一覧](#) | [項目一覧に戻る](#) | [全QIRリンク有効](#) | [全QIRリンク無効](#) | [CSVダウンロード](#) | [編集ツール](#) | [CSVデータ更新](#) | [一括削除](#)

1ページの一覧表示数: 10 / ページ: 1 2

アイコンについて

- データの詳細表示
- データの編集
- データをコピーして新規作成
- データの削除
- データの並び順を上に移動
- データの並び順を下に移動
- データを昇順にソートして並び替え
- データを降順にソートして並び替え
- 全てのチェックボックスを選択
- 全てのチェックボックスを選択解除

No.	論文題目	主要 ▼▲	著者氏名(全員)	学会又は雑誌等名	発行年月 ▼▲	QIR	公開 ▼▲	
1	Links and Cycles of Web databases	主要	Masao Mori, Tetsuya Nakatoh and Sachio Hirokawa	the 4th Workshop on Semantic Web Applications and Perspectives 2007, Bari Italy	2007年12月	<input checked="" type="checkbox"/>	公開	移動
2	マッシュアップの軽量実装ための提案	主要	森 雅生・中藤哲也・廣川佐千男	DEWS2007	2007年03月	<input checked="" type="checkbox"/>	公開	移動
3	Functional Composition of Web Databases	主要	Masao Mori, Tetsuya Nakatoh and Sachio Hirokawa	The 9th International Conference on Asian Digital Libraries	2006年11月	<input checked="" type="checkbox"/>	公開	移動
4	Algorithmic Partial Analysis for Secure Cryptographic Protocols		Masao Mori	ISEE 2003	2003年11月	<input checked="" type="checkbox"/>	公開	移動
5	Graph Transformation Approach for the Shortest Path Search and Length Calculation		Masao Mori and Yoshihiro Mizoguchi	Bulletin of Informatics and Cybernetics	2003年10月	<input checked="" type="checkbox"/>	公開	移動
	A Sufficient							

大学評価情報システム

[ヘルプ](#)[お問い合わせ](#)

全項目

[病院臨床活動項目](#)[データ提出](#)[入力委任](#)[パスワード変更](#)[ログアウト](#)

森 雅生(00161:K000173)

[0.教員基礎情報](#) | [I.教育](#) | [II.研究](#) | [III.社会貢献・国際連携](#) | [IV.学内運営](#) | [V.研究資金](#) |

II-3-2. 原著論文の編集

[一覧](#) | [詳細一覧](#) | [項目一覧に戻る](#)[更新](#) | [詳細](#) | [コピーして新規作成](#)

論文題目

Links and Cycles of Web databases

主要



貢献度

90%

著者氏名(全員)

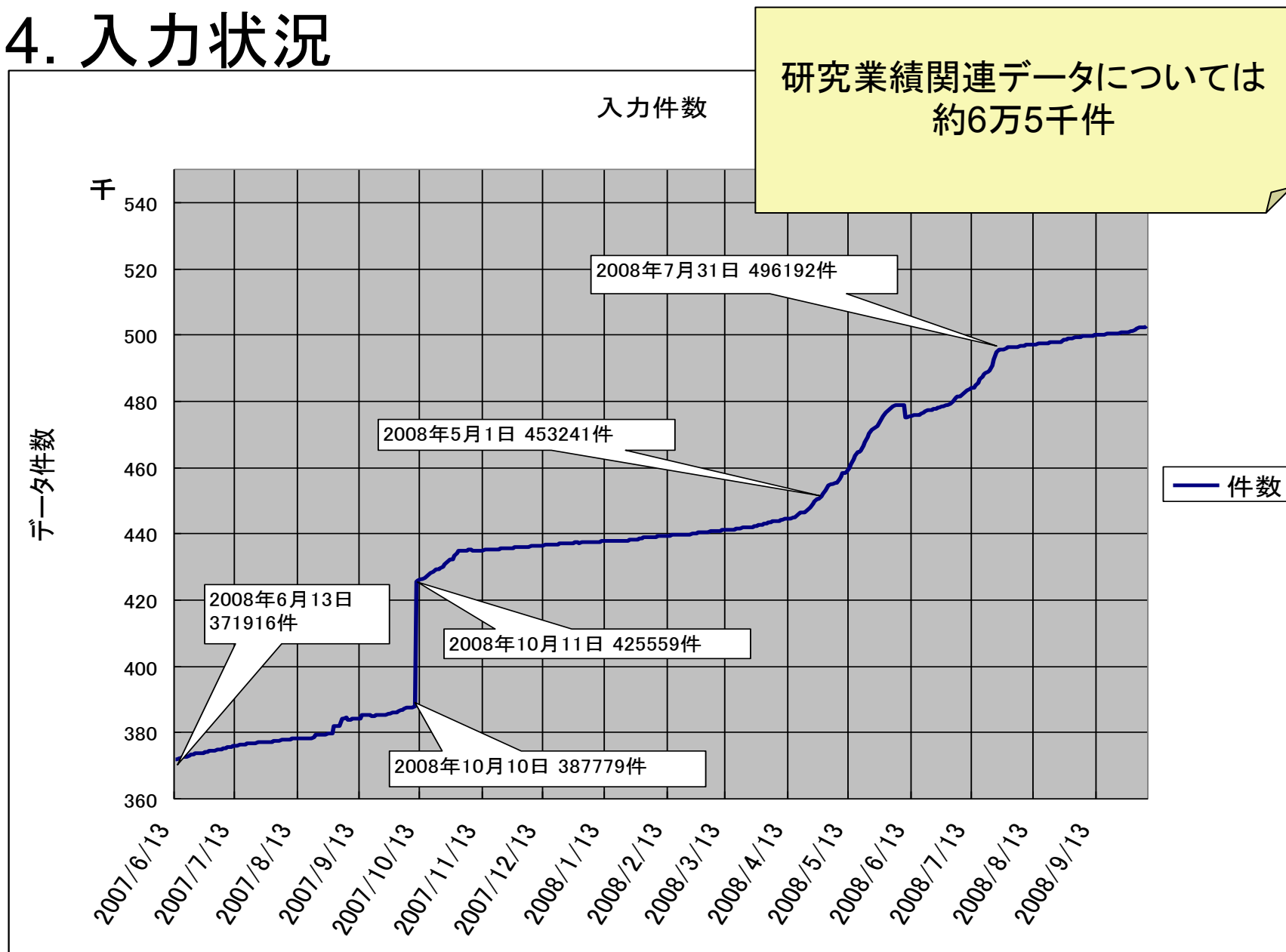
Masao Mori, Tetsuya Nakatoh and Sachio Hirokawa

著者氏名(修士学生)

著者氏名(博士学生)

著者氏名(研究生/学部学生(*))

4. 入力状況



4. 入力状況

入力増加の理由

入力の義務化—責任の所在の明確化

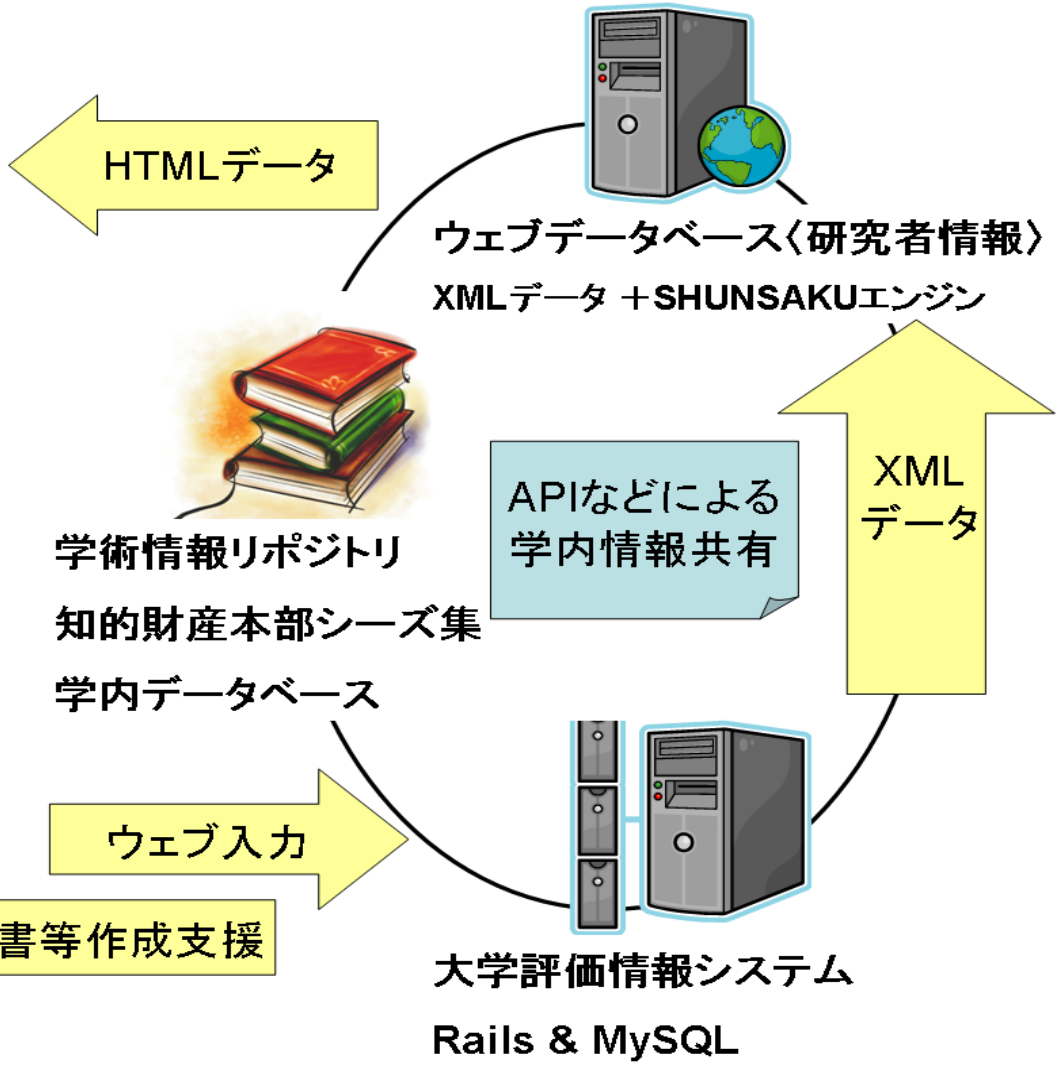
全学で合意された、教員の連帯責任制を導入、部局全体が責任を負う。

データの充実化と必要性の相互作用

データが貯まるほど、データベースの必要性が認識され、更に入力が促される。正のスパイラル。

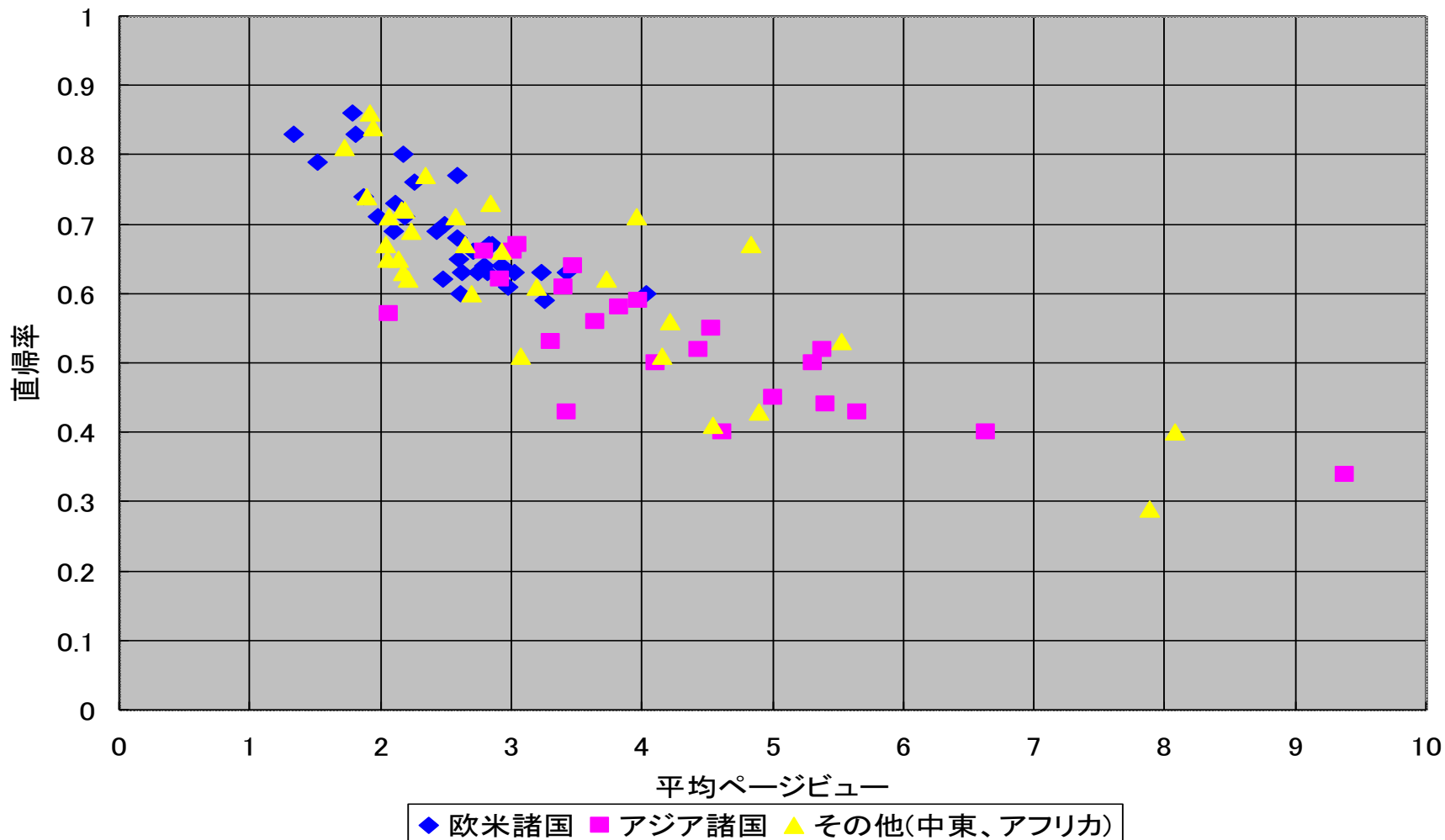
5. 活用

教員の活動情報の発信支援



5. 活用（研究者情報アクセス分析）

平均ページビュー対直帰率(上位100カ国) (平成19年12月から平成19年10月)



5. まとめと課題

まとめ

目的の明確化による教員データベースの活性化

自己点検・評価という制度への対応という位置づけ。

ゆるいXP

開発者、顧客間で、導入するDBの目的や制度的な背景の共有。

課題

教員の入力負担の軽減

アップロードAPIの開発や、他の学内DBとの連携。

オープンソースとして公開

ドキュメント類を整備して、他大学や研究機関での利用の呼びかけ。
大学のほうから文科省や国に対して、教員データベースの情報スキームを提案する ⇒ **世の中を動かすことができるか？ Ruby on Rails!**

END